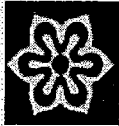


平成22年11月定例会提案予定の 主な条例・議案の概要

「明日の京都」の策定

- 京都府行政運営の基本理念・原則となる条例
- 「明日の京都」長期ビジョン
- 「明日の京都」中期計画
- 「明日の京都」地域振興計画
 - 「明日の京都」山城地域振興計画
 - 「明日の京都」南丹地域振興計画
 - 「明日の京都」中丹地域振興計画
 - 「明日の京都」丹後広域振興計画

京 都 府



「明日の京都」の構成

基本条例

- 府政運営や地域づくりの基本となる理念・原則を定める条例

長期ビジョン

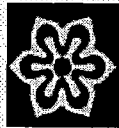
- 10～20年先を展望した長期的なビジョン

中期計画

- 長期ビジョンを実現するための中期的(4～5年間)な戦略

地域振興計画

- 山城・南丹・中丹・丹後の各地域ごとの資源や特色を活かした地域振興のための計画



京都府行政運営の基本理念・原則となる条例案の概要

住民自治を基本とする府政を進めていくため、府政運営や地域づくりの基本となる考え方、府政運営の行動原則等を明らかにする条例

基本理念

- ①人を大切にし、人がつながり支え合う、心豊かな社会づくり
- ②府民が自ら主役となり、地域の魅力を高める自立した社会づくり
- ③多様な主体がともに役割を担う社会づくり

基本原則

- ①府民が起点となり、府民がいかにされる府政運営
- ②府民の安心と活力の向上を支える府政運営
- ③府民によく見える、信頼される府政運営
- ④府民の参画と協働を尊重し、支える府政運営
- ⑤市町村等との連携・協力による府政運営

特徴

- 基本理念として、「ユニバーサル」の視点、京都の「和」・「共生」の視点
- やわらかなイメージの条例（「です・ます調」の採用：府条例で初）



「明日の京都」長期ビジョン

大切にしたい
価値観

人の絆と
コミュニティ

「質」と「こ
ころ」の時
代を先導
世界に貢献

具体の社会像は

めざす社会の姿

人と絆を大切にする京都

自由で多元性のある京都

環境と文化が持続し
発展する京都

交流し価値を創造する京都

すべての地域が輝く京都

実現のための基本方向

基本方向

府民安心の再構築

地域共生の実現

京都力の発揮

特徴

○人の生き方、暮らし方に視点を置いた府民中心・人間中心のビジョン
(社会基盤整備は、目的ではなく、手段として位置付け)



「明日の京都」中期計画

長期ビジョンに向かうための中期(4~5年間)の戦略

基本方向
(長期ビジョンと同じ)

府民安心の再構築

地域共生の実現

京都力の発揮

現状・課題

京都府の使命

具体方策

数値目標

特徴

- 長期ビジョンの実現に向けて、目的別に具体方策を体系化
- 約200項目の数値目標を設定し、施策のマネジメントを推進



「明日の京都」中期計画

府民安心の再構築

子育て・子育ての安心

- 子育て家庭の経済的・精神的負担の軽減
- 多様な保育ニーズへの対応、健やかな育ちの支援 など

学びの安心

- 子どもの個性や能力を伸ばす教育の実践、学力の質の向上
- 子どもの豊かな人間性、健康な身体の育成 など

働きの安心

- 求職者の安定就労支援
- 一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現 など

医療・福祉の安心

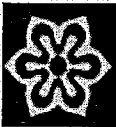
- 病気の予防、病気やけがへの不安の軽減
- 持続可能な医療・福祉の提供システムの構築
- 障害のある人の地域における生活支援 など

長寿の安心

- 高齢者が自宅や地域で暮らし続けられる環境づくり
- 高齢者の孤独感の軽減、生きがいづくりの応援 など

暮らしの安心

- 犯罪等や交通事故の抑止、災害や感染症等の被害軽減
- 食品の安心・安全確保、医療品等の安全確保 など



「明日の京都」中期計画

地域共生の実現

人権尊重

- 様々な人権問題の解決への取組
- ユニバーサルデザインの考え方に基づく社会づくり など

地域力再生

- 地域力を活用した地域づくり
- 住民と行政の協働の拡充 など

新たな コミュニティづくり

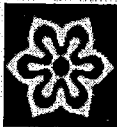
- 家庭や地域のコミュニティの拡充
- 人がつながり支え合う社会の実現
- 地域のにぎわい創出 など

男女共同参画

- 男女の人権問題の解決への取組
- 家庭、地域、働く場での男女共同参画推進 など

ふるさと定住

- 個性豊かで住みやすい地域づくり
- 農山漁村の定住環境の整備
- 農山漁村の所得水準の向上 など



「明日の京都」中期計画

京都力の発揮

人づくり

- 伝統産業・農林水産業など分野ごとの発展を牽引する人材の育成
- グローバルに活動する人材の育成 など

環境の「みやこ」

- 低炭素社会・循環型社会の形成
- 優れた景観、自然や生活環境創出
- 自然と調和した暮らしの推進、環境意識の向上 など

文化創造

- 京都文化の継承・発展、地域文化の復興や発展
- 新しい文化・芸術、スポーツの振興 など

産業革新 ・中小企業育成

- 京都の特性をいかしたブランド産業の育成、中小企業の発展支援
- 質の高い観光の成長・発展
- 農林水産業を基軸とした産業活性化 など

交流連帯

- 道路・鉄道の整備による移動の利便性向上、暮らしの足の確保
- 情報交流の利便性向上
- 京都を文化学術研究の交流拠点に など

希望に輝く地域づくり

- 地域の個性や資源をいかした14の「みやこ構想」の展開



「明日の京都」地域振興計画

各広域振興局で、地域の資源や特性をいかした計画を策定

山城地域振興計画

人がつながり支え合う、活力・協働・安心の山城交流圏

南丹地域振興計画

“きずな”と夢あふれる「京都丹波」の郷


中丹地域振興計画

関西広域交流時代の「みやこ」をめざして

丹後地域振興計画

地域の持つ「宝」をいかした「元気な丹後」

特徴

- 新府総では、「地域別の整備の方向」として一体的に作成
 「地域振興計画」として独立
- 広域振興局ごとに独自に策定
 ～現地・現場主義の視点から地域の特色を反映した内容に～
- 地域戦略会議を開催し、府民参画のもとで策定